

# 都市再生整備計画

あつぎえきしゅうへんちく  
厚木駅周辺地区

(第4回変更)

かながわ えびなし  
神奈川県 海老名市

令和5年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

|       |      |      |      |     |         |    |     |      |    |    |    |   |    |   |    |
|-------|------|------|------|-----|---------|----|-----|------|----|----|----|---|----|---|----|
| 都道府県名 | 神奈川県 | 市町村名 | 海老名市 | 地区名 | 厚木駅周辺地区 | 面積 | 1.8 | ha   |    |    |    |   |    |   |    |
| 計画期間  | 平成   | 31   | 年度   | ～   | 令和      | 5  | 年度  | 交付期間 | 平成 | 31 | 年度 | ～ | 令和 | 5 | 年度 |

|   |
|---|
| <p><b>目標</b></p> <p>厚木駅南地区市街地再開発事業に合わせ、都市基盤等の整備を行うことで、アクセス性の向上、駅乗降客数の増加及び駅周辺の混雑緩和を図り、公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生を目指す。</p>  |
| <p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を考え、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針) ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。</p> <p>本市では、総合計画の目標都市像「快適に暮らす魅力あふれるまち海老名」の実現を目指し、充実した鉄道網と拠点駅周辺に集積する都市機能の既存ストックを活用したコンパクトなまちづくりを進めてきたところであり、これまでの取り組みにより海老名駅周辺地域を中心とした商業系用途地域の指定により、市の中心核として様々な都市機能の集積が図られ、市全体の人口は年々増加している。</p> <p>一方厚木駅周辺地区は都市計画上の拠点として位置付けられているものの、駅前広場が無く、拠点性が低いに加え、地区内の居住者の高齢化や世帯人口の減少、小売店舗の閉店等により中心市街地としての賑わいの再生への取組みが求められている。</p> <p>このことから、本地区を地域交流拠点として位置付けた「立地適正化計画」の策定により、本地区を都市機能誘導区域及び居住誘導区域に設定し、都市機能誘導区域の核として拠点性を高めるための整備が求められている。</p>   |
| <p><b>まちづくりの経緯及び現況</b></p> <p>厚木駅周辺地区は、元より暮らしにうおいを与える魅力ある生活利便施設が少なく、駅周辺に住民や来街者の交流スペースもない状況に加え、地区内の居住者の高齢化や世帯人口の減少、自動車学校の移転による来街者の減少などに伴い、平成22年に小売店舗が閉店してからは日常の食料品の買い物にも不便な状況となり、地域の魅力がより一層低下し続けている。また、地区内の道路幅員が狭く、災害時の避難経路の確保や緊急車両の通過に支障をきたす等、防災上の課題がある。さらに、駅前広場も未整備であることから、駅へのアクセス性が悪いため、最寄りの厚木駅を利用できず、周辺道路への路上駐車による渋滞・事故の発生要因にもなっている。</p> <p>一方、小田急小田原線及びJR相模線の2線が乗り入れており、1日に延べ約35,500人(小田急小田原線 約21,000人、JR相模線 約14,500人)の乗降客数が利用する市内で3番目に乗降客数が多い駅であり、新宿には約60分、横浜、橋本などの県内の主要都市へ約45分でアクセスが可能と地区の強みである交通結節機能を有する地区である。</p> <p>そのため、市では都市マスタープランにおいて、本地区を市街地再開発事業等の手法により、土地の高度利用化や商業・業務・居住機能の集積、道路整備等による市街地環境の改善を図るとともに、日常的な生活を支援する機能の集積を誘導し、公共交通の利用と連携した中心市街地の賑わいの再生を図る。</p> |
| <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区内の道路幅員が狭く、駅前広場も未整備であることから、最寄りの厚木駅を利用できず、周辺道路への路上駐車による渋滞・事故の発生要因となっており、駅へのアクセス性向上を目的とした都市基盤の整備が必要とされている。</li> <li>・駅周辺の居住者の高齢化や人口の減少及び商業施設の閉店等に伴い、駅周辺の賑わいが失われている。</li> </ul>  |
| <p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <p>本市では、都市マスタープランにより、まちづくりの目標を以下のとおり定めている。</p> <p>【基本目標1】まちの賑わいや元気を実感できる都市</p> <p>【基本目標2】安全で安心感のある都市</p> <p>【基本目標3】誰もが暮らしやすさを実感できる都市</p> <p>【基本目標4】自然や歴史の魅力があふれる都市</p>  |



| 計画区域の整備方針                            | 方針に合致する主要な事業   |
|--------------------------------------|--|
| <p>・アクセス性の向上や安全・快適な空間の形成を図る。</p>     | <p>【基幹事業】<br/>                     道路：市道15号線歩道整備事業、(仮称)駅前線新設整備事業、市道387号線拡幅整備事業<br/>                     地域生活基盤施設(広場)：厚木駅南地区駅前広場整備事業<br/>                     【関連事業】<br/>                     厚木駅南地区市街地再開発事業</p>              |
| <p>・駅乗降客数を増加させ、地域の活性化を図る。</p>        | <p>【基幹事業】<br/>                     道路：市道15号線歩道整備事業、(仮称)駅前線新設整備事業、市道387号線拡幅整備事業<br/>                     地域生活基盤施設(広場)：厚木駅南地区駅前広場整備事業、厚木駅南地区広場整備事業<br/>                     【関連事業】<br/>                     厚木駅南地区市街地再開発事業</p> |
| <p>・県道への一時停車台数を減少させ、駅周辺の混雑緩和を図る。</p> | <p>【基幹事業】<br/>                     道路：市道15号線歩道整備事業、(仮称)駅前線新設整備事業、市道387号線拡幅整備事業<br/>                     地域生活基盤施設(広場)：厚木駅南地区駅前広場整備事業<br/>                     【関連事業】<br/>                     厚木駅南地区市街地再開発事業</p>              |
| <p>その他</p>                           |  |



|                   |    |        |    |               |
|-------------------|----|--------|----|---------------|
| 厚木駅周辺地区(神奈川県海老名市) | 面積 | 1.8 ha | 区域 | 海老名市河原口一丁目の一部 |
|-------------------|----|--------|----|---------------|



厚木駅周辺地区(神奈川県海老名市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

|    |   |        |                   |       |            |       |         |
|----|---|--------|-------------------|-------|------------|-------|---------|
| 目標 | 厚木駅南地区市街地再開発事業に合わせ、都市基盤等の整備を行うことで、アクセス性の向上、駅乗降客数の増加及び駅周辺の混雑緩和を図り、コンパクトで魅力的なまちづくりを目指す。 | 代表的な指標 | アクセス性の向上 (%)      | 74.4  | (平成29年度) → | 76    | (令和5年度) |
|    |   |        | 賑わいのある空間の創出 (人/日) | 35562 | (平成28年度) → | 38000 | (令和4年度) |
|    |   |        | 駅周辺の混雑緩和 (台/時間)   | 30    | (平成30年度) → | 0     | (令和4年度) |

